



2026 世界乗用車メーカー年鑑

マルチパスウェイ、AI活用とSDV開発、地政学対応による戦略再構築

- ◆ 欧米、アジアの主要乗用車メーカー22社の企業情報、経営動向をわかりやすく説明
- ◆ 電動化の先行き不透明感に伴う各社の製品計画、開発や目標の見直しを解説
- ◆ 乗用車メーカー各社が厳しい事業環境や競争をどう乗り越え、生き残るかを考察
- ◆ 各社のグローバルなプレゼンス、競争力、変革の方向性などを詳しく比較分析
- ◆ 主要各社のマルチパスウェイ製品展開、AI活用やSDV技術の進捗を説明

● 発行：2026年2月20日 ● 価格：220,000円（税込、国内送料込） ● 体裁：A4判 約439ページ

※ 報告書の内容をご覧になりたい方は、営業部までお問い合わせください。TEL：052-789-1101 E-mail：info@fourin.jp

申込書

世界乗用車メーカー年鑑 2026

- 冊子版 : 税込220,000円
- Web印刷タイプ : 税込220,000円
- 冊子版+Web印刷タイプ : 税込264,000円

貴社名 _____

貴部署名 _____

御住所 (送付先) _____

TEL番号 _____

E-mail address _____

(フリガナ) _____

ご氏名 _____ 御役職 _____

通信欄 _____

当調査報告書は書店では取り扱っておりません。お申し込みは、申込書に必要事項をご記載の上、FAXまたはメール添付してください。またE-mailでのご注文も承ります。

お申し込み、お問い合わせはこちらへ



株式会社フォーイン

〒464-0025名古屋市千種区桜が丘292
 TEL：052-789-1101 FAX：052-789-1147
 フリーダイヤル FAX：0120-0000-73
<https://www.fourin.jp> E-mail：info@fourin.jp



世界の自動車産業は現在、歴史的な構造転換期に直面すると同時に、過去に例のない強い逆風にさらされています。電動化やデジタル化といった「100年に一度」とも言われる大変革に対応するため、各社は人的・財務的リソースに多額を投じてきました。しかしその過程でパンデミックが発生し、供給制約やサプライチェーン混乱といった想定外の事態が相次ぎました。結果として生産は大きく制約されましたが、生産量を高付加価値モデルに集中させることで台当たり収益を改善し、メーカー各社は一定程度この局面を乗り越えることができました。

その後、ウクライナ戦争の勃発が世界的なインフレを引き起こし、とりわけコスト構造に課題を抱えるメーカーに深刻な影響を及ぼしました。また、サプライチェーンの中国依存が改めて顕在化し、地政学リスクの高まりとともに産業構造の脆弱性が露わになりました。加えて、中国におけるSDV（Software Defined Vehicle）やNEV（New Energy Vehicle）分野の新興勢力が急速に台頭しているほか、米国による関税引き上げなど、従来型OEMに対する外部環境は一段と厳しさを増しています。

特に、中国市場への依存度が高いドイツ勢、とりわけ高級ブランドの販売不振は深刻です。また、米国市場のウェイトが大きい日本メーカーも、2025年度に入り減速が目立ち始めており、市場ごとのリスクが企業業績に直接影響する構造が一段と明確になっています。こうした状況は、従来の市場依存モデルに依拠した経営が限界に近づいていることを示し、各社が地理的ポートフォリオや事業基盤を再構築する必要性を強めています。

『世界乗用車メーカー年鑑2026』では、欧州、北米、アジア(日本、韓国、中国、インド)の主要なメーカー・グループ22社を取り上げ、各社の経営方針、業績、事業体制、製品計画、生産/調達、R&D、販売、地域戦略、提携などの項目ごとに注目すべき情報、動向をまとめています。乗用車メーカー各社が厳しい事業環境や競争をどう乗り越え、生き残るかを分析し、中国の新興勢の競争力も含め、考察を加えています。

取引先の経営動向把握、生産計画策定、新規部品受注に向けた営業立案、ベンチマーク的な分析にご活用くださいますようお願い申し上げます。



www.fourin.jp

目次

総論 競争軸はICE+E ドライブとSDV+AI、米国の関税引き上げへの対応と中国での技術現地化が課題・.....2
・自動車メーカー各社が直面する事業環境、トレンドと各社対応

特集1 乗用車主要各社はマルチパスウェイとSDVキャッチアップ、新興勢はグローバルでのプレゼンス強化・.....3
・主要各社のマルチパスウェイ製品展開動向
・主要各社のSDV技術基盤や製品デジタル技術動向
・中国系(新興勢)のNEV・SDV事業動向や技術概要
・米国系BEV・SDV新興勢の動向、など

特集2 米国関税引き上げで自動車各社の収益悪化、世界販売で中国勢の存在感増す・.....14
・主要各社の世界販売台数比較
・主要各社の地域別業績比較
・主要各社の米国販売現地製比率、現地化強化動向、など

世界自動車グループ・メーカーの経営概況(各自動車メーカーの総合経営戦略分析レポート)・.....21

欧米系自動車メーカー／グループ

- Volkswagen グループ：復活に向け、製品技術展開見直し、リストラ遂行、In China for Chinaの取り組み推進..... 22
BMW：Neue Klasse BEVでは革新性訴求、フレキシブルな製品ドライブトレインラインナップで高級ブランド首位..... 57
Mercedes-Benz Cars：史上最大の製品投入攻勢、生産能力削減等コスト強化、AIによる製品力向上で2027年回復目指す.....78
Stellantis：短期的には販売規模回復優先、中期目標は利益率6%程度.....98
Renault グループ：電動化とソフトウェア技術で、収益性改善と競争力強化を推進..... 128
General Motors：BEV需要鈍化で再び内燃機関車への投資強化策に転換..... 162
Ford：BEVは低価格PFへ集中、ICE車やHEVラインアップ強化..... 183
Tesla：フィジカルAI軸のサービスプラットフォームとしての地位強化..... 203

アジア系自動車メーカー／グループ

- トヨタグループ：新たな5ブランド戦略で多様な顧客に対応、新型BEVとSDV投入本格化..... 229
ホンダ：電動化戦略を再構築、HEV強化とHonda 0でBEVに布石..... 245
日産：経営再建に向けRe:Nissanを推進、コスト削減と新車投入を加速..... 263
マツダ：市場環境変化に対応し、既存リソースを最大限に活用して投資抑制..... 281
スバル：米国関税で2,000億円規模の減益、生産・開発体制の見直しで挽回..... 292
三菱自動車：営業利益率などの中計目標達成は道半ばだが、競争力ある新製品の投入は計画通り進む..... 303
スズキ：2030年度世界販売420万台を目指し、インドで生産体制強化、電動化・SDVに投資..... 312
Hyundai Motor Group：2030年に974万台製販目標、中長期戦略としてAI分野に注力.....329
吉利集団(Geely)/Volvo Car：再編とグループ内シナジーで競争力強化へ..... 360
Tata/JLR：グローバル競争力強化や収益性向上に向けた体制整備..... 378
上汽集団(SAIC)：自主ブランド事業を統括管理、協業拡大でエコシステムを構築へ..... 387
BYD：ユーザー生活に密着したスマートエコシステムの構築とグローバル成長を推進.....404
長城汽車(GWM)：マルチパワートレインを本格化、販売成長の軸足を海外市場へ..... 416
奇瑞汽車(Chery)：ハイブリッド車の投入と運転支援システムの自主開発により電動化と智能化を加速、海外事業も強化・430

見本頁



欧米、アジアの主要乗用車メーカー22社の企業情報、経営動向をわかりやすく説明

- 総論：総論、注目トピック、売上高／営業利益率と生産／販売台数の長期推移、沿革、財務情報
経営方針：中期計画などの経営戦略方針、リストラ動向など
組織・体制：経営体制、幹部人事など
製品：製品計画、主な新モデルの概要、プラットフォーム情報など
生産・内製／調達：生産拠点一覧、生産能力、部品調達／技術動向など
研究・開発：R&D拠点一覧、技術開発動向、SDV関連等の注目技術など
販売：ブランドやモデルごと等の販売実績、販売動向
グローバル事業：北米や中国などの地域ごとの動向や戦略
非自動車・新規事業：二輪車事業、ロボット技術など

例えば、「Volkswagen グループ」の場合の詳細目次は次の項目となります。

- ◆経営概観
・生産／販売台数長期推移
・売上高／営業利益率推移
・主要財務データ
・Audi、主要財務データ
・Porsche、主要財務データ
・財務目標(参考)
◆経営方針
・VW グループ戦略概要
・リストラ計画・動向
・戦略的に重要な10トピックと取り組み内容
・投資計画
・Audi Agenda戦略プログラム概要
・Skoda、欧州好調、グローバルプレゼンス強化で販売増維持
・Cupra、ブランド戦略奏功で販売成長継続
・Porsche、複合的な要因で苦境に直面
・BentleyとLamborghiniの戦略アップデート
◆組織・体制
・ブランドグループ体制
・経営体制
◆製品
・主要グローバルプラットフォーム一覧
・製品投入一覧
◆製品(つづき)
・VW、新T-Rocの概要
・Audi、新Q3の概要
・Audi、新A6の概要
・Porsche、Cayenne Electricの概要
◆研究・開発(つづき)
・ADAS/AD技術開発協力
・Porsche、中国VCTC拡張、車両PFの開発から検証までを行うR&D体制整備
・主要R&D拠点一覧
◆販売
・エーゲンシーモデル見直し
・モビリティサービスプラットフォーム
・自動運転モビリティサービス向け技術ソリューション展開とサービス実証
・地域別/モデル別小型自動車販売台数
◆グローバル事業
・地域別事業戦略概要
・Scout、事業動向
・中国事業/技術戦略
◆提携関係
・戦略技術開発協力関係
・戦略技術パートナー(デジタル領域、SDV技術、Eドライブ、自動車他社との提携、他)
◆非自動車・新規事業
・新規事業